

日中対照言語学会会報 (No.47)

2019年4月10日(水)発行 会報担当：加藤晴子 続三義

目次

1. 第5回常務理事会拡大会議(2019年3月16日)議事録
2. 日中対照言語学会第41回大会(2019年度春季大会)のご案内
3. 月例会(2018年10月・2019年3月 ※報告漏れの部分を含む)

※事務局より

1. 第5回常務理事会拡大会議議事録

日時：2019年3月16日(土) 15:30~17:00

場所：大東文化会館 K401

出席者：加藤晴子、続三義、王学群、竹島毅、劉勳寧、橋本幸枝、白石裕一(敬称略)

[審議事項]

① 春季大会プログラム

まず、続三義副会長より準備活動が報告された。春季大会は明海大学にて5月19日(日)に開催する。発表応募者が6名と少なめだったので、もう2名増やすよう執行部で検討・調整することとした。講演者は1名であり、明海大学の天津由紀雄教授にお願いし、開催校代表挨拶は明海大学の安井利一学長に打診中であることが劉勳寧理事・開催校責任者から報告された。

当日の総合司会と研究発表の司会は、5名の常務理事または理事に依頼することが了承された。講演の司会は劉勳寧理事にお願いすることとなった。

② 会員総会

春季大会当日、開催する。

③ 役職推薦

学会の日常の活動に携わる常務理事ないし理事を数名推薦し、これから打診していくことが続副会長より報告され、了承された。

④ 学会誌投稿規程の改定

大阪大会(昨年12月開催)で議論した学会誌投稿規程の改定案が再度確認され、具体的な文言をさらに吟味していくこととなった。

[報告事項]

① 学会誌第21号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

査読が終了し、現在編集中である。査読委員長の平山邦彦常務理事と編集責任者の安本真弓常

務理事による書面連絡があり、最終的には、論文 13 本、講演寄稿 1 本の計 14 本が掲載されることが続副会長より報告された。

学会誌投稿規程ともかかわるが、今回は一名の会員から複数の投稿があったことで、その取扱い規程の改定によって、正式に決めることとした。

② 会費納入

白石会計係より、2018 年度の会費収入についての報告がなされた。新入会員は 44 名（うち一般会員 13 名、院生会員 31 名）、2019 年 3 月の時点で計 163 名から会費納入があった。

③ 学会誌の送付

竹島常務理事より、学会誌第 20 号は 207 冊が送付済みであることが報告された。

④ その他

2019 年度から、学会役員の選挙を行うこととなり、新年度に入ってから、選挙スケジュールなどを会員総会で諮るために準備作業を進めていることが続副会長より報告された。

2. 日中対照言語学会第 4 1 回大会（2019 年度春季大会）のご案内

記

日 時：2019 年 5 月 19 日（日）午前 9 時 20 分より午後 5 時 35 分（予定時間）

会 場：明海大学（千葉県浦安市明海 1 丁目明海大学浦安キャンパス）教学棟 2206 講義室

交 通：新浦安駅より徒歩 8 分（新浦安駅までは、新木場駅より JR 京葉線・快速 10 分、東京駅より JR 京葉線・快速 16 分、西船橋駅より JR 武蔵野線 8 分）

参加費：1,000 円（会員、非会員共通）

プ ロ グ ラ ム

受付（9:00—）総合司会 椿 正美（中央大学）

大会開催校挨拶 安井 利一（明海大学学長）9:20—9:30

開会の辞 加藤 晴子（東京外国語大学）9:30—9:35

研究発表 1. 日本語と中国語の指示詞に関する一考察

—「ア系」と“这”が対応する場合を中心に—

日下部 直美（星城大学）9:35—10:05

研究発表 2. “别/不要……”と“别/不要……了”

王 学群（東洋大学）10:05—10:35

以上司会 王 亜新（東洋大学）

休憩（10 分間 10:35—10:45）

研究発表 3. 中国語の「“V 成” + 名詞性の語句」形式の表す状態義

丸尾 誠 (名古屋大学)

10 : 45 - 11 : 15

研究発表 4. 空間移動を表す“过”の日中対照研究

蘇 秋韻 (大東文化大学大学院)

11 : 15 - 11 : 45

以上司会 竹島 毅 (大東文化大学)

昼休み (75 分間 11 : 45 - 13 : 00 ※ 駅周辺に食堂街あり)

講演 言語獲得の不思議 — 普遍性と多様性の視点から

大津 由紀雄 (明海大学)

13 : 00 - 14 : 00

司会 劉 勳寧 (明海大学)

休憩 (15 分間 14 : 00 - 14 : 15)

研究発表 5. 不同意表明に伴う手の動きの性差の日中比較

趙 東玲 (金沢大学大学院)

14 : 15 - 14 : 45

研究発表 6. 日本語の「さすが」とそれに対応する中国語表現の対照研究

周 世超 (鹿児島国際大学大学院)

14 : 45 - 15 : 15

以上司会 安本 真弓 (跡見学園女子大学)

休憩 (15 分間 15 : 15 - 15 : 30)

研究発表 7. 色彩語の日中対照研究 — 「黒・白」の基本形と重ね型を中心に—

陳 祥 (筑波大学大学院)

15 : 30 - 16 : 00

研究発表 8. 日中翻訳—川柳の中国語訳を例に

続 三義 (東洋大学)

16 : 00 - 16 : 30

以上司会 時 衛国 (山東大学)

閉会の辞 彭 飛 (京都外国語大学)

16 : 30 - 16 : 35

会員総会

16 : 35 - 17 : 35

※ 当日、入会申し込み、および年会費の納入も受け付けます。年会費は社会人 4,000 円、院
生 2,000 円です。

3. 月例会 (2018 年 10 月・2019 年 3 月 ※報告漏れの部分を含む)

前 46 号の会報において、2018 年 10 月 20 日に行われた月例会での王学群会員の発表に関する記録が漏れていましたので、ここに掲載いたします。王学群会員と 2019 年 3 月 16 日の続三義会員の発表は臨時のものであり、通常の月例会のように HP 上の発表要旨はありません。

■ 日 時 : 2018 年 10 月 20 日 (土) 17 : 00 ~ 19 : 00

場 所 : 大東文化会館 K-402

発表者：王 学群（東洋大学）

テーマ：“～极了”、“～死了”、“～透了”、“～得要命”、“～得要死”などについて

■日時：2019年3月16日（土）17:00～19:00

場所：大東文化会館 K-401

発表者1：蘇 秋韵（大東文化大学大学院）

テーマ：位置移動の動詞“过”について — “过+空間詞”の構造から—

発表者2：続 三義（東洋大学）

テーマ：日中翻訳 — 川柳の中国語訳を例に

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申込ができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡ください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させていただいております。アドレスが不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、アドレスの変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
春大会の開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員様には次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。
- 4) 月例会発表者募集について
月例会の発表について、発表希望者は毎月の月末までに、次月に発表したいテーマと要旨（500 字前後）を王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。

